

《施設のレシピ》

慈眼寺寿光園の人気メニューレシピ！

Recipe!



魚のすりみ揚げ

材料(1人分)

- すり身(魚).....60g
- 玉ねぎ.....10g
- 人参.....10g
- 干しひじき.....0.5g
- 生姜(すりおろし).....1g
- 卵.....5g
- 薄口醤油.....1g
- 片栗粉.....2g
- サラダ油.....6g

《作り方》

- ①玉ねぎはスライス、人参は千切り、干しひじきは水で戻す。
- ②すり身をボウルに入れて、野菜、溶いた卵、調味料を手でよく混ぜ合わせ、丸く形を整える。
- ③160℃の油できつね色になるまで、じっくり揚げる。
(高温で揚げると外だけ焦げ付くので、中火でじっくり揚げる)

●慈眼寺寿光園 栄養士 内野聡子

ちょっと気になるニュース

仁風学園 上棟式を
執り行いました！



昼食は調理職長手作りの豪華なお弁当を食べました！



11月19日、全面改築工事中の仁風学園にて上棟式を執り行いました。

小雨が降る中ではありましたが、式は学園児童と地域住民の方々を対象とした二部構成で、関係機関の方々や理事長、児童代表が舞台上に立ち、餅まきが行われました。

上棟式に初めて参加する児童が多く、最初は戸惑い緊張した面持ちでしたが、お餅やお菓子がまかれると、持参したビニール袋に好きなお菓子を夢中で詰め込む姿があり、児童みんな笑顔があふれていました。

全面改築工事は計画通りに進んでおり、本年3月に新園舎が完成予定です。

職員一同、新園舎完成に向けて、児童が安心して生活ができる環境を整え、地域に根ざした施設づくりを目指していきたいと思います。

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

- 松林 大生(仁風学園)
- 國光 政江(川内自興園)

鹿児島県社会福祉事業団
永年勤続表彰

- 熊谷 千代子(若葉学園)
- 山下 とも子(慈眼寺寿光園)
- 中村 聡美(同胞保育園)
- 野口 純仁(川内自興園)

おめでとう！

全国社会福祉協議会会長表彰

- 中村 幸子(若葉学園)
- 山本 恭子(同胞保育園)

鹿児島県社会福祉協議会会長表彰

- 坂元 直子(若葉学園)
- 蓮子 洋明(鹿児島みなみ保育園)
- 岩塚 恵美(法人本部)

鹿児島市社会福祉功労者表彰

- 上野 高幸(仁風学園)
- 福岡 良文(仁風学園)
- 岩元 公典(慈眼寺寿光園)
- 川内 康稔(同胞保育園)
- 吉村 安史(リハステーションゆず)

鹿児島県知事表彰

- 中村 幸子(若葉学園)
- 山本 恭子(同胞保育園)
- 中原 君子(鹿児島みなみ保育園)

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

飛翔

HISHO

Vol.64



令和4年度、事業団は設立60周年を迎えました。各施設から集まった思い出の写真を掲載しています。

60th Anniversary

CONTENTS

- 理事長あいさつ P02
- 【特集】慈眼寺寿光園 歩みを振り返る P04

- ねっとわーく～施設の窓から～ P06
- ふくしのおしごと・シリーズ人 P10
- 簡単レシピ 他 P12



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階
TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939
E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL https://kagoshima-swc.jp



新年を迎えて

理事長 下村一彦



新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃から当事業団にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し心から感謝申し上げます。

昨年は、当事業団にとりまして設立60周年という記念すべき年でした。新型コロナウイルス感染症の影響により多数の皆様にお集まりいただく記念式典は開催できませんでした。利用者や元事業団職員など関係の方々に寄稿をお願いして、設立60周年記念誌を本年3月に刊行しますので、皆様方にはぜひご一読いただければと思います。

また、昨年は、事業団にとって極めて重要な2つの取組に着手した1年でした。

まず一つ目は、「慈眼寺寿光園の閉園」であります。寿光園は、建物の老朽化や全室2人部屋、自立した高齢者が生活することを前提にした建物内部の造りなど、利用者にとって決して良好とはいえない住環境でした。このような環境の中にあっても、職員は様々な工夫をしながら日常生活の支援を行ってまいりましたが、利用者に対して質の高いサービスを提供することが難しい状況になりつつありました。それから、外部環境としての有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の良好な住環境が整った施設が増加していることなども考慮すると、とてもつらく厳しい選択ではありますが、慈眼寺寿光園は閉園せざるを得ない状況にあったと考えています。閉園に向けては、利用者のご家族をはじめ関係の皆様、市町や関係機関のご理解・ご協力をいただきながら、職員一丸となって利用者の施設移行などの取組を進め、大きなトラブルなく閉園の目処が立つに至りました。これもひとえに関係の皆様のご理解・ご協力があってこそと考えており、深く感謝申し上げます。

もう一つは、「仁風学園の全面改築工事」であります。物価高や円安の進行等による建築資材の高騰に直面する中で工事に着工できるのか、大変懸念される状況ではありましたが、工事資金の調達、入札等を無事にクリアし、昨年7月に現場着工できました。本年3月には完成する予定であり、新しい園舎が「子ども達にとって生活しやすい、職員にとって働きやすい場」になるものと大いに期待しているところです。また、仁風学園として2箇所目となる地域小規模児童養護施設の開設に向けて準備を進めています。今後とも国の政策動向等に留意しながら、子ども達の最善の利益の実現を目指して取り組んでいきたいと考えております。

事業団としては、本年も、これまでの取組の成果を踏まえつつ、基本理念を全職員で共有しながら、利用者の皆様へ安心・安全で質の高いサービスを提供してまいります。また、「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2022」に沿って事業団の持続的発展を目指して、人材の育成を図りながら、適切な法人経営に努めてまいりたいと考えておりますので、関係者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとって素晴らしい1年となりますようお祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

報告

理事会

- 令和4年6月8日
- 議案第1号 令和3年度事業報告(案)について
 - 議案第2号 令和3年度計算関係書類及び財産目録(案)について
 - 議案第3号 仁風学園全面改築に伴う資金の借入及び基本財産の担保提供(案)について
 - 議案第4号 令和4年度第一次収入支出補正予算(案)について
 - 議案第5号 仁風学園全面改築工事請負契約に係る入札(案)について
 - 議案第6号 基本財産の処分(案)について
 - 議案第7号 理事候補者の選定(案)について
 - 議案第8号 評議員候補者の推薦(案)について
 - 議案第9号 評議員選任・解任委員の選任(案)について
 - 議案第10号 評議員会の招集並びに目的である事項等について
- 令和4年7月20日
- 議題第1号 仁風学園全面改築工事事後管理型附付き一般競争入札における落札者の決定(案)について
 - 議案第2号 仁風学園全面改築工事請負契約(案)について
 - 議案第3号 鹿児島県社会福祉事業団育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)について
 - 議案第4号 鹿児島県社会福祉事業団職員給与規則の一部改正(案)について

- 議案第5号 鹿児島県社会福祉事業団契約職員給与規則の一部改正(案)について
 - 議案第6号 鹿児島県社会福祉事業団再雇用職員給与規則の一部改正(案)について
 - 議案第7号 鹿児島県社会福祉事業団非常勤職員給与規則の一部改正(案)について
 - 議案第8号 鹿児島県社会福祉事業団就業規則の一部改正(案)について
 - 議案第9号 鹿児島県社会福祉事業団契約職員就業規則の一部改正(案)について
 - 議案第10号 鹿児島県社会福祉事業団再雇用職員就業規則の一部改正(案)について
 - 議案第11号 鹿児島県社会福祉事業団非常勤職員就業規則の一部改正(案)について
 - 議案第12号 鹿児島県社会福祉事業団公益通報保護規程の制定(案)について
- 令和4年11月29日
- 議案第1号 令和4年度第二次収入支出補正予算(案)について

評議員会

- 令和4年6月24日
- 議案第1号 令和3年度計算書類及び財産目録(案)について
 - 議案第2号 仁風学園全面改築に伴う基本財産の担保提供(案)について
 - 議案第3号 基本財産の処分(案)について
 - 議案第4号 理事の選任(案)について

令和4年度事業団職員研修

事業団全体研修

*新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止

階層別研修

新任主査研修

【令和4年8月24・25日/12月7・8日】
 (株)九州経済研究所「管理職基礎コース」受講

チームリーダー研修

【令和4年7月12日/8月10日】
 (内容)

1. 理事長講話
2. 財務・会計の要点
3. 問題発見能力の養成
 講師：南日本新聞社 下舞 幸作氏
4. 若手社員の育て方について
 講師：(株)九州経済研究所 坂本 亜希子氏
 ①「人材育成」は企業発展のキーワード
 ②育成担当者として知っておきたいこと
 ③自信が持てる育成の基本ステップ
 ④育て上手の時間有効活用術
 ⑤やる気にさせるほめ方・叱り方
 ⑥こんな時どうする？
5. 受講者による1分間スピーチ



新任主任職員研修

【令和4年10月18日】
 (内容)

1. 理事長講話
2. クレームをチャンスに変える初期対応トレーニング
 講師：(株)九州経済研究所 江藤 緑 様
 ①企業に求められていることは ②クレームは怖くない
 ③クレームをチャンスに変えるには？ ④こんな対応がお客様の不満を拡大させる！
 ⑤本日の振り返り
3. ハラスメント・虐待防止等について
4. 問題発見能力の養成
 講師：南日本新聞社 下舞 幸作氏
5. 財務・会計の基本
6. 受講者による2分間スピーチ



新任職員(2年目)フォローアップ研修

【令和4年8月22日】
 (内容)

1. 理事長講話
2. 施設紹介
 各施設で作成してきたパワーポイントの発表
 ●施設概要 ●各施設の福祉制度の概要 ●業務紹介
 ●入職してから振り返り ●仕事のやりがい、魅力等
3. 今までの振り返り
 講師：(株)九州経済研究所 坂本 亜希子氏
 ①組織とは、社会人とは
 ②入職してから振り返り
 ③理念の実現につながる行動をさらに増やしていくために大切なこと
 ④行動プラン作成
 ⑤本日の振り返り
4. 受講者による1分間スピーチ

新任職員研修

【令和4年4月13日】
 (内容)

1. 理事長講話
2. 事業団の概要・服務規律・諸規則等について
3. 社会人としての心構え等
 講師：(株)九州経済研究所 坂本 亜希子氏
 ①社会人としての心構え ②仕事の覚え方・進め方 ③ビジネスマナーの基本
 ④電話応対の基本 ⑤来客応対の基本 ⑥本日の振り返り

新任職員(1年目)フォローアップ研修

【令和4年10月14日】
 (内容)

1. 理事長講話
2. 施設内・利用者とのコミュニケーション力
 講師：フリーアナウンサー 中村 朋美氏
3. 人材育成計画について
4. 半年間の振り返り
 講師：(株)九州経済研究所 江藤 緑 氏
 ①組織とは、社会人とは ②入職してから振り返り
 ③理念の実現につながる行動をさらに増やしていくために大切なこと
 ④行動プラン作成 ⑤本日の振り返り
5. 受講者による1分間スピーチ



契約職員サプリーダー研修

【令和4年8月2日/8月17日/8月30日】
 (内容)

1. 理事長講話
2. 事業団の概要・規則について
3. 上司と部下のコミュニケーション
 講師：ティイクアクションNOW 野中 千尋 氏
 ①自分と相手を知る ②話を聞く
 ③考えをまとめる ④話をする ⑤まとめ
4. 問題発見能力の養成
 講師：南日本新聞社 下舞 幸作氏



新任契約職員研修

【令和4年9月20日】
 (内容)

1. 理事長講話
2. 事業団の概要等について
3. 人材育成問題について
 講師：個人経営者対策課 宇都 節郎 氏
4. 「報・連・相」徹底術
 講師：(株)九州経済研究所 坂本 亜希子氏
 ①「報・連・相」はなぜ必要？
 ②意外と知らない「報・連・相」それぞれの意味
 ③これだけで「報・連・相」上手！
 ④「報・連・相」を存分に活用して、仕事を楽しく！
 ⑤本日の振り返り



非常勤職員研修

【令和4年9月13日/9月16日/9月29日/9月30日】
 (内容)

1. 理事長講話
2. 事業団の概要等について
 ①事業団の概要 ②服務規律・諸規則について
3. 施設内・利用者とのコミュニケーション力
 講師：フリーアナウンサー 中村 朋美氏
4. 交流分析



特集 慈眼寺寿光園 歩みを振り返る



当園は、自宅での生活が難しい高齢者の養護施設として、昭和37年6月に開園し、昭和、平成、令和という3つの時代を経てきましたが、一定の役割を終えて、今年度末までに閉園することになりました。今回は、慈眼寺寿光園の60年の歴史を振り返りたいと思います。

慈眼寺養老院

昭和37年



初代園舎は20年以上に亘り、利用者の方々の地域生活を支えてくれました。

当時は遠くまで見えました

昭和53年



当時の新聞に「開催したバザーが大賑わいだった」との記事が掲載されました。

貴重な記事が残っていました

昭和54年



まだまだ体が元気な利用者の方が多く、屋外での大運動会が開催されていました。

それぞれ負けるな!

昭和57年



おめでたいこの日は宴会が開かれ、余興があったり、こそうが振る舞われたりしました。

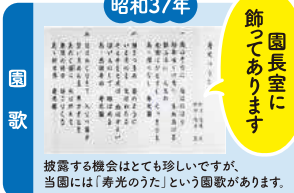
20周年おめでとう

昭和

慈眼寺寿光園の主な歩み

- ・昭和36年9月1日 慈眼寺養老院 着工
- ・昭和37年6月1日 慈眼寺養老院 開園
- ・昭和38年10月1日 慈眼寺寿光園に改称
- ・昭和49年5月1日 福祉作業所 完成
- ・昭和59年4月1日 新園舎落成
- ・平成9年6月2日 食事形態をバイキング式に変更
- ・平成18年10月1日 訪問介護ステーション 寿光園 開所
- ・平成20年10月1日 デイセンター寿光園 開所
- ・平成30年4月1日 一般型特定施設入所者 生活介護事業所に転換

昭和37年



披露する機会はとも珍しいですが、当園には「寿光のうた」という園歌があります。

園歌

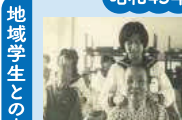
昭和41年



当時の食堂は業で、皆さん部屋いっぱい座って、賑やかな中で食事をしていました。

食事の様子

昭和45年



当時から現在に亘り、地域の学生や園児との交流が続いていました。

地域学生との交流会

平成

昭和50年



利用者の方々が生産した盆栽などの園芸品の即売会は、地域の方々に大人気でした。

展示即売会

平成18年



介護の手が必要になった利用者の方々の生活の維持向上を目的として、開所しました。

訪問介護ステーション

生活のお手伝いさせていただきます

平成20年



機能訓練などを提供して元気に生活してもらうことを目的として、開所しました。

デイセンター寿光園

楽しく通ってくださいね

平成21年



クリスマスは何歳になってもなんだかドキドキわくわくします。

クリスマス晩餐

ジングルベル、ジングルベル

平成30年



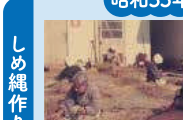
近くの慈眼寺公園のコスモス見学は恒例行事になっていて「きれい」と声が聞かれていました。

コスモス見学

外の空気は気持ち良いですね

令和

昭和55年



年末になると毎年恒例のしめ縄作りで、新年の準備をはじめました。

しめ縄作り

もうすぐお正月です

令和4年



慈眼寺寿光園

今年度は、入所者の施設移行など閉園に伴う業務が大きな割合を占め、全職員が「閉園」という一つの目標に向かって、一致団結して取り組むことができました。

令和元年

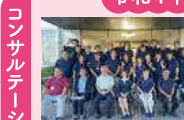


年一回、利用者の方々とその家族が一堂に会する家族会は、たくさんの笑顔で和気あいあいとしていました。

家族会・夏祭り

皆さん集まるととてもにぎやか

令和4年



職員それぞれが園での思い出を語り合いました。

コンサルトレーション

笑顔でパシャリ

令和4年

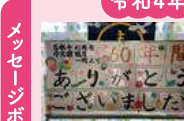


身寄りのなかった故人の遺骨を妙行寺に納骨し、法要を執り行っていただきました。

納骨法要式

どうぞ安らかに

令和4年



地域への感謝の気持ちを込めて、利用者の方々と職員が一緒にボードを作りました。令和5年3月31日閉園予定です。

メッセージボード

本当にありがとうございました

慈眼寺寿光園で培った知識や技術、思い出は、それぞれの職員が胸に抱いて次のフィールドに紡いでいきます!

【令和5年1月吉日】慈眼寺寿光園長 岩下 藏久

児童養護施設 仁風学園

工事現場見学

現在、仁風学園では全面改築工事が進められています。

8月24日、夏休み中の児童が特別に工事現場の見学をさせていただきました。見学の前に改築工事を請け負っている株新生組の方から、工事について丁寧に教えていただき、児童は興味津々な様子で、真剣に話を聞く姿が見られました。



いよいよ、工事現場の見学となると、わくわくしている子どもや、大きな音に緊張している子どもなど様々でした。工事車両に近づきたい気持ちを抑えながら、「すごい。」と目を輝かせていました。

最後に、一人一回ずつショベルカーに乗せてもらいました。クラクションを鳴らしたり、一緒に操作させてもらったり、初めての経験に「楽しかった。」と嬉しそうに話していました。

もともとグラウンドのあった場所で改築工事が進められているため、児童の遊び場所が減り、窮屈な思いをしていると思いますが、見学の機会をいただき、工事現場の方々と話したり、日々工事が進んでいる様子を見たりして、完成への期待が増したのではないかと思います。



●児童指導員：竹野 千恵

保育所 同胞保育園

お散歩にレッツゴー!!

気持ち良い秋晴れの日、2歳児もも組と1歳児たんぼほ組の子ども達と一緒に散歩に出掛けます。

自分達より小さい友達とお散歩に行くのは初めてのもも組の子ども達、自分の靴をさっと履いて、たんぼほ組の友達の靴を履かせようと手伝う姿は、もう立派なお兄さんお姉さんです。

たんぼほ組の子ども達は、異年齢とお散歩に行くのは今回が初めてです。普段は靴や



靴下を自分達で履こうと一生懸命頑張っていますが、今日はもも組のお兄さんお姉さんにお手伝いしてもらい、少しドキドキしながらもとても嬉しそうです。

準備が整い、いざ出発!初めての園外での道に戸惑うたんぼほ組の子ども達に「こっちはだよ。」「大丈夫?」と気遣うもも組の子ども達のおかげで、緊張気味だったたんぼほ組の子ども達も少しずつ慣れ、「あるこう、あるこう!」とさんぼの歌を歌いながら楽しそうにお散歩をする姿が見られました。しっかり者のもも組のお兄さんお姉さんが、「車来ます。」と車が来ると教えてくれる姿も見られました。

お散歩中は、猫を見つたり、地域の方々に手を振って挨拶をしたり、園外だからその経験をたくさんすることができました。

異年齢児との交流は、コロナ禍となり減



ていましたが、相手を思いやる気持ちが育まれたり、年上の子が身近なお手本や憧れの存在になったりと、様々な学びがあります。

今回のお散歩を通して、改めて異年齢児交流の大切さを学ぶことができました。今後も様々な年齢の友達との交流を積極的に取り入れていきたいと思っています。

●保育士：園師 麻衣

児童養護施設 若葉学園

園内夏祭り

10月10日に園内夏祭りが開催されました。当初は9月に行う予定でしたが台風の影響で延期になり、子ども達は防寒をしながらの参加になりました。

夏祭りではかき氷やスーパーボールすくい、綿あめの屋台がありました。厚着をしているにも関わらず、震えながらも嬉しそうにかき氷を頬張る子ども達の姿はとても印象深く感じました。また、スーパーボールすくいは四苦八



苦ながらもなんとかボールをすくいあげ、景品をゲットする子ども達。綿あめの屋台の前では、カラフルで大きな綿あめに小さな口を一杯に広げかぶりつくも、顔中に綿あめがつき、ハロウィンを想起させる顔になっている子ども達。久しぶりの夏祭りを存分に楽しむ姿が見られました。

最後は六葉煙火さんによる打ち上げ花火があり、間近で見る花火の迫力に子ども達は圧倒され、感動していました。花火の音にびくびくする子どももあり、その姿が花火の迫力を物語っていました。

季節外れではありましたが夏を感じる機会を得て、子ども達の実顔はいつも以上に輝いていました。

子ども達は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、制限のある中で学園生活を過



していたため、久しぶりに夏祭りに参加でき嬉しかったことと思います。

今回の園内夏祭りの開催に協力いただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

●児童指導員：立山 剛吉

保育所 鹿兒島みなみ保育園

おみせやさんごっこ

9月22日の朝、「いらっしゃいませ」と、元気いっぱい大きな声が聞こえます。子ども達が待ちに待った「おみせやさんごっこ」の始まりです。

おみせやさんごっこでは、2歳児から5歳児の子ども達が縦割りのグループになり、店員さん役とお客さん役になります。品物から看板やレジ、バーコード決済用のスマートフォンなど全て手作りです。今回は魚釣り屋、パン屋、アイスクリーム屋、カフェのおしゃれな4店舗が並びました。



店員さん役は、協力してお客さん役に声を掛け、品物を袋に詰めたり、棚に補充したりと大忙しでした。パン屋のお客さん役は「どれにしようかな、サンドウィッチが美味しそうだ」と、友達と一緒に買い物を楽しむ姿が見られました。魚釣り屋では、「釣れたよ」と嬉しそうに伝えてくれる姿も見られました。おみせやさんごっこが終わるころには、子ども達の買い物袋がバンバンになっており、とても嬉しそうなお顔があふれていました。

おみせやさんごっこを通して、子ども達は店員さん役として異年齢児と協力しながら品物を売ったり、補充したりと責任感を持って取り組むことで商品を作る過程や、やりがいを学ぶことができました。これからも様々な行事を通して子ども達に寄り添いながら一緒に楽しんでいきたいと思っています。



●保育士：八瀬尾 美月

母子生活 支援施設

親子活動

～ハーバリウム・万年カレンダー作り～

子ども達が待ちに待った夏休みがやってきました。今年の夏休みも、新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者の方々には外出や外出自粛の協力をお願いしてきました。

その中でも、子ども達に楽しい夏休みを過ごしてもらいたいという思いから、小学生の親子を対象にハーバリウムと万年カレンダー作りを実施しました。

ハーバリウムは、瓶の中に好みのドライフラワーやビーズを入れ、オイルを注いだ今人



気のインテリアです。子ども達は、部屋に入った瞬間から色鮮やかなドライフラワーに興味津々で目を輝かせていました。

全体の色のテーマを親子で考え、ドライフラワーやビーズ等を選び、組み合わせ、仕上げにオイルを注げば完成です。同じ材料でも、中に入れる花材、色、バランスなど選び方や作り方次第で、オリジナリティ溢れる作品が完成しました。

カレンダー作りは、身近にあるタイルやシールを使って製作をしました。数種類のタイルを使ってカラフルなカレンダーを製作した親子、二色のタイルで統一感のあるカレンダーを製作した親子、それぞれ個性溢れる作品ができあがりました。いずれも世帯に一つしかない作品で、夏休み最後に親子で交流を図る良い機会になったと思います。

●支援員：重信 凜



まだまだコロナ禍による制限の多い日々ですが、利用者の方々が少しでも癒しの時間を過ごすことができ、思い出に残る施設行事を今後も計画していきたいと思えます。

障害者支援施設 ゆすの里

めざせホールインワン!!

10月27日晴天の中、ゆすの里では、グラウンドゴルフ大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛を自覚していただいている利用者の方々も、久しぶりの外での行事を楽しみにしていました。

競技は、4ホール合計打数とチャレンジコースとして1打のみホールインワンを目指す



全5コースで行われました。

少人数ごとにチーム分けをし、感染症対策を講じながらの実施でしたが競技中は、あちらこちらから笑い声や歓声、他の利用者さんを応援する声聞こえました。

利用者の方々の競技に真剣に取り組まれている姿を見ることができ、普段とはまた違う、活気と笑顔に溢れているゆすの里でした。

利用者の方々はもちろん、職員も笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。いつもは自立や施設移行に向けた訓練や生産活動に取り組まれている利用者の方々の新たな一面を知ることができ、私たち職員にとっても、非常に貴重な機会となりました。

現在は園外での活動や面会が少し緩和され職員と一緒に買い物や短時間の面会もできるようになってきました。これからも利用者の方々



に楽しんでいただける、思い出に残る行事を考え、創意工夫しながら、ゆすの里に笑顔が溢れる取り組みを実施していきたいと思えます。

●主任言語聴覚士兼主任支援員
宮園 健志

障害者支援施設 川内自興園

ハロウィンパーティ

10月27日にハロウィンパーティを開催しました。

行事担当の支援員が主となり、何度も話し合った結果、ハロウィン知らない利用者が多いことから、今年は「ハロウィンの雰囲気存分に味わってもらおう」ということで、お化け屋敷・くじ引き・ハロウィン限定のドーナツを楽しむことに決めました。



お化け屋敷を企画するのは初めてのことで、試行錯誤を繰り返しながら製作に取り組みました。また、利用者の方々と一緒に手形アートでお化けの壁面製作を行い、園内がハロウィンの雰囲気となり盛り上がりていきました。

当日は、ハロウィンの説明から始まり、利用者の方々には仮装やペイントを楽しみ、いつもと違う雰囲気ワクワクされていました。

くじ引きで当たった景品を見て「やった、嬉しい」と喜んでいる方や、ドーナツを口いっぱい頬張り食べている方、お化け屋敷では恐る恐るの中に入る方や、支援員にギュッと抱き寄せられている方の姿が印象的でした。

「ドラキュラ初めて見た」「もう一回行きたい」と楽しんでいる方も多く、大盛況の行事となりました。



終了後、「来年もハロウィンしたい」という利用者の方々からの嬉しい声が多く聞かれ、準備の大変さが吹き飛びました。

コロナ禍ではありますが、利用者の方々の笑顔がもっと増えるように、これからも楽しい行事を実施して行きたいと思えます。

●支援員：古田 萌恵

かごしま障害者就業 ・生活支援センター

ピアサポート交流会

ピアサポート交流会とは、センターの支援により就労・就労定着している障害者の方等を講師として招き、参加者の方が専門職による支援では得がたい安心感や自己肯定感を得ることで、就労促進を図ることを目的に実施しています。

今回は特別支援学校を卒業し就職3年目のIさんを講師に迎え、「きばれ!自分を信じてつきすめ!」というタイトルで、仕事内容の紹介



や、働くことで気づいたこと、支援機関を利用した感想などを話していただきました。また、オンライン開催の利点を活かして離島のご両親や卒業校の先生にも参加していただいたことで、参加者も自身を取り巻く多面的な環境に思いを馳せる貴重な時間となりました。

お母様からの「これまで無限の可能性を信じて一つ一つの成長に大きな喜びを感じてきました」と愛情深いコメントを聞いたIさんは、照れながらも改めてご両親への感謝を口にしていました。支援員として、日ごろIさんが頑張っている理由の一つを理解することができた時間でした。



一人の方の頑張る姿が波のように周囲に広がり、影響し合い、それぞれが自身の目標に向けて歩み出すきっかけとなるピアサポート交流会を今後も大切にしていきたいと思えます。

●支援員：三浦 敦子

ふくしのおしごと紹介

当事業団では、各施設で様々な職種の職員が働いています。
今回は調理師と言語聴覚士の一日に密着してみました!

調理師

勤務地 | 仁風学園・若葉学園・婦人保護施設・同胞保育園・鹿兒島みなみ保育園

●若葉学園：諏訪免 陽子(事業団勤務32年)



当園では様々な課題を抱えた子ども達が生活をしています。そのような子ども達一人ひとりに寄り添った食事支援を心掛けています。

また、近年コロナ禍にあり、食堂での食事提供ができない場合は、できるだけ温かい食事提供が出来るよう試行錯誤しています。

子ども達の「うわぁ、美味しそう」や「ごちそうさまでした!美味しかったよ」の声がやりに繋がっています。

●若葉学園：久保田 純子(事業団勤務28年)



子ども達一人ひとりの要望に応えるのは難しいので、いつも申し訳ないと感じています。

できるだけ子ども達からの声を献立に反映させ、子ども達の記憶に残り続けてもらえるような「心のこもった食事」を提供できるように、今後さらに頑張りたいと思います。

食事後の子ども達のお皿が空っぽの様子や、行事食を作った時の「わぁー!」という歓声、嬉しそうな笑顔を見る時にとてもやりがいを感じます。

■仕事内容

栄養士が作成した献立に沿って、児童約70名分の朝・昼・夕の3食と、土・日曜日の少年団や部活などのお弁当作りを8名の調理員で行っています。そして、一時保護児童の受け入れでもアレルギーを持った子ども達も増えてきているため、栄養士、調理員、指導員などあらゆる職種の職員と連携を取りながら、安心・安全な食事支援を行っています。

一日のタイムスケジュール

【早出勤の場合】

- 5:00 出勤
- 朝食作り、高校生弁当作り
- 6:00 配膳・朝食
- 下膳
- 7:00 朝食後の食器・器具洗浄・片付け
- 8:00 昼食の下準備
- 業者対応
- 9:30 朝礼
- 翌日の下準備(食材準備・確認・翌日のおやつ)
- 10:30 昼食作り
- 11:45 食堂配膳
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 昼食後の食器・器具洗浄・片付け
- 点検表記入
- 14:00 退勤



言語聴覚士

勤務地 | ゆすの里・リハステーションゆす

●ゆすの里：宮園 健志(事業団勤務4年)



利用者の方が話をしていてくれるのに伝えたい事が理解できない時は、ジェスチャーや筆談、絵などを使って意思疎通を図るようにしていますが、スムーズな方法がないかいつも模索しています。

本人やご家族から言葉が出るようになった、ご飯が食べられるようになったとお話があった時はとてもやりがいを感じます。

話すこと・食・食べることは日常生活に欠かせないものです。その人らしく、より良い生活を過ごしてもらえよう頑張ります。



■仕事内容

「聞く、話す、読む、書く」などのコミュニケーションが困難な方に言語訓練を実施しています。言葉の訓練は理解面では単音→単語→短文(例:平仮名の「ほ」→単語「本」→短文「本」を読む)と段階を踏んで進めていきます。絵カードや文字カード、音声を使って理解力を深めていく訓練を実施しています。表出面では発話、書字の手段の向上を目指し同じように単音→単語→短文と進めていきます。

また、口や舌の麻痺により、言葉が歪む、声が出しにくい、発音に異常がある方に対しては口・舌の動作の訓練、発声訓練、音の出し方などの構音訓練を実施します。

また、飲み込み力が低下した方に上手く飲めるよう口、舌、喉の使い方や姿勢調整、飲み込み方の訓練を実施しています。

一日のタイムスケジュール

【日勤の場合】

- 8:30 出勤
- 8:35 職員朝礼
- 8:50 利用者朝礼
- 9:00~11:30 訓練
- 12:00~13:00 食事支援・休憩
- 13:00~16:00 訓練
- 16:00 担当利用者支援
- 17:00 連絡会
- 17:30 退勤



母子生活支援施設 主事 川村 七海

①自己紹介をお願いします。

今年度より、母子生活支援施設で勤務しています。川村七海です。大学時代、不登校児童との関わりがあり、不登校と状況は違っても、何か困っている人の支えになる仕事をしたいと思い、この仕事に就きました。

②今、行っている仕事内容は何かですか？

現在、母子生活支援施設の主事として請求書作成や伝票起票、備品管理などの業務を行っています。市町村への提出書類の作成や、数字を扱うことが多く、とても責任を感じながらの業務になりますが、一つ終わるごとに達成感を感じています。

③事業団で働いて半年経って…

社会人になって、初めて経験することばかりですが、先輩方や関係機関の方に沢山のことを教えてもらいながら業務に励んでいます。請求書関係や予算等、経理関係の知識・経験がない私にはとても難しいことが多く、用語すら分からない時もありますが、一つ一つ分かっていくことに楽しさややりがいを感じています。

④休日どのように過ごしていますか？

休日は韓国ドラマや好きなアーティストの動画を見ることが多

いですが、食べるのが好きなので、カフェを目指してドライブすることもあります。また、我慢しなくても良いよう、毎週運動するように心掛けています。

⑤先輩方へ一言お願いします!

就職してから学ぶことがばかりで、一生懸命だった半年はとてもあっという間でした。これからもたくさん学び、成長していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

【インタビュー】 法人本部 稲田 みな実



1日の勤務の流れ

- 8:30~ 出勤
- 8:40~ 朝の連絡会
- 8:50~ 前日の日誌確認
- 9:00~ 事務処理
(メールチェック、請求書作成、伝票作成等)
- 12:00~ 休憩
- 13:00~ 事務処理
- 17:30~ 退勤

川内自興園 B型事業所の取組を紹介します!

11月12・13日、川内自興園オータムバザーを開催しました。当日は、季節の花苗や朝採れ野菜など、にぎわいいっぱいのバザーとなりました。

今年はいよいよ「燃ゆる感動がこしま国体・がこしま大会」が開催されます。そのイベントとして行われた「花育でリレー」に参加し、多くの花苗の育苗に取り組みました。開花時期を合わせる育苗やハウスいっぱいの花苗の管理は大変でしたが、素敵な花で大開催を彩るよう頑張りました。

その他にも川内自興園では、毎年多くの花苗の受注生産を行っており、県庁やマリンポート・自治会・小中学校などに定植される花を毎年約5万本以上納品しています。

今後も地域の皆様により良い生産物を提供できるよう、利用者・職員一同、心を込めて育てていきたいと思っております。



許可番号04 かごしま国体承認 第1-30号



事業団設立60周年記念誌 作成中です!

令和4年度、事業団は設立60周年を迎えました。現在、記念事業の一環として、各施設職員及び事務局職員からなる編纂実行委員会にて、記念誌の作成を行っており、改めて60年という歴史の重みを実感しています。記念誌は3月頃完成を目標に作業を行っています。皆様のお手元に届くのをぜひ楽しみにして下さい!



歴代の記念誌▶